

令和元年5月24日
中村河川国道事務所

おお がた

一般国道56号 大方改良

開通後の交通状況について

3月24日(日)に開通した一般国道56号大方改良の交通状況についてお知らせします。

【交通量】

- 開通後の断面交通量は、約13,500台/日。
- 開通後、断面交通量の約8割が新しい国道を利用。

【整備効果】

- 自転車・歩行者道の整備により、安全・安心な通行空間を確保。
- 約8割が新しい国道を利用するようになり、旧国道の歩行者や自転車の安全性が向上。

※今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」及び「No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた『資国』産業競争力強化プロジェクト」等の取組に該当します。

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 (TEL: 0880-34-7301代表)

副所長(道路) 平口 正雄(へいぐち まさお) 内線205

◎調査課長 矢野 裕紀(やの ひろき) 内線451

<◎: 主たる問合せ先>

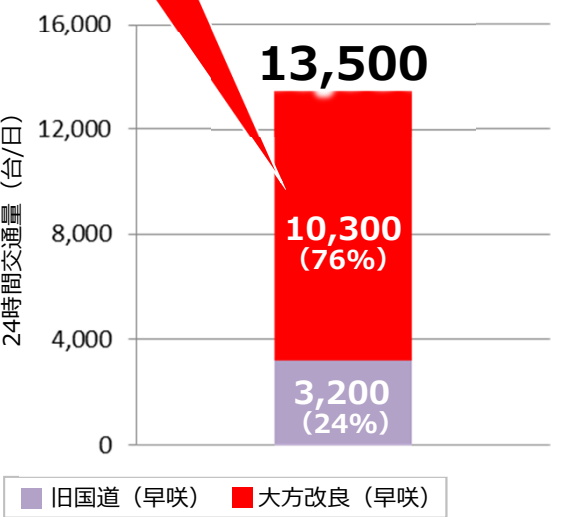
【交通量】一般国道56号 大方改良開通後の交通状況

- 一般国道56号大方改良開通後の断面交通量は、**約13,500台/日**。
- 大方改良開通後、断面交通量の**約8割**が新しい国道を利用。



開通後の交通量

新しい国道を
約8割が利用



24時間交通量
2019年5月8日(水)～2019年5月12日(日)の
日平均交通量

※この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」を基に編集・加工したものです。

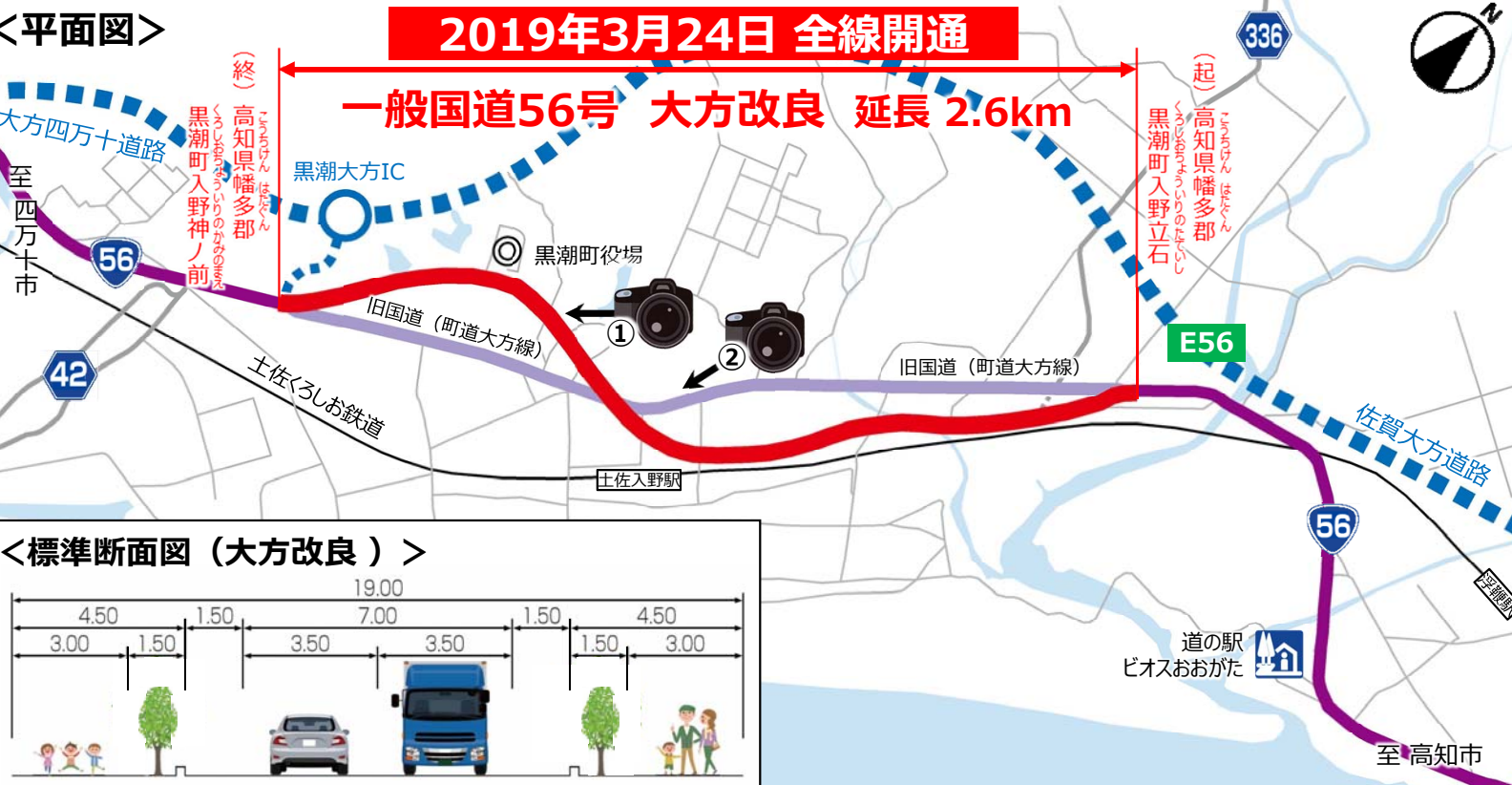


- 凡例
- 大方改良
 - 事業中
 - 国道(直轄)
 - 旧国道(町道大方線)
 - 県道
 - 町道
 - 交通量計測箇所

【整備効果】歩行者・自転車利用者の安全性の向上

- 一般国道56号大方改良は、**自転車・歩行者道の整備**により、**安全・安心な通行空間を確保**。
- 約8割が新しい国道を利用するようになり、旧国道の**歩行者や自転車の安全性が向上**。

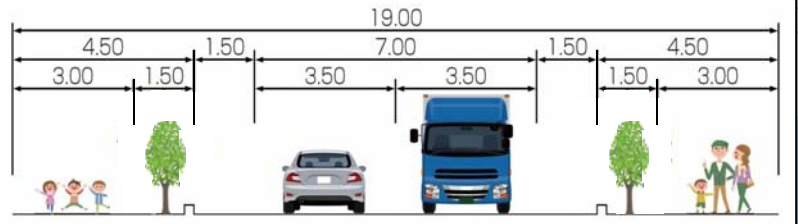
<平面図>



旧国道の効果
約8割が新しい国道を利用するようになり、**歩行者や自転車の安全性が向上**

- 通学時に横を通る車が減ったので、**怖い思いをすることが減り、安全**になりました。
(入野小学生)
- 家の目の前が旧国道で、**出入りの際に危険が多かった**が、今では**交通量が減少し、安全**になりました。
(旧国道沿道住民)

<標準断面図（大方改良）>



新国道の効果 広い自転車・歩行者道の整備により**安全・安心な通行空間を確保**

●開通前の国道56号は、**交通量が多く危険**なため、遠回りの町道を使い通学していました。**今では広くてきれいな新しい国道の歩道**を自転車で走れるので、**危険性もなくなり安全で早く通学**できるようになりました。
(大方中学生)



- 凡 例
- 大方改良
 - 事業中
 - 国道（直轄）
 - 旧国道（町道大方線）
 - 県道
 - 町道

※この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」を基に編集・加工したものです。

② 開通前後の通学状況の変化

